

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	28	事業名	文化の家企画事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5	いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪	決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	7	市民参加の仕組みづくり	会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	ながくて未来園(長久手市第6次総合計画)(H31.3) 長久手市文化芸術マスタープラン(H30.3)	9-4-5 文化の家施設費	
	事業開始の背景、経緯等	本市は、歴史の中で培われ継承・発展してきた風土や伝統文化を持ち、近隣含め、大学が多数存在し、地域には学生や芸術家、専門家が多数在住している。地域の特性と市民一人ひとりの個性を活かしつつ、人々が協力して新たな魅力ある文化芸術の創造を図る。豊かな地域社会が織りなす質の高い生活空間を創出することにより、市民がゆとりと潤いに満ち、生き生きと暮らしているまちを目指す。 (両者と協働不可の場合はその理由)			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市の文化芸術政策の基本理念「ともに創る きらめく長久手」を実現するために、文化芸術マスタープランの3つの基本方針のもと、6つの事業に取り組む。事業については、重点的な5つの施策を定め、今計画期間において特に力を入れて取り組む。これらの取組を基礎にして、さまざまな分野に文化芸術を活用していく。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民及び団体の施設利用者並びに来館者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市が、「暮らしが楽しい地域・環境の創出」、「地域の活力の向上」、「主体的なまちづくりの担い手の育成」、「経済の活性化」等によって快適で魅力と活力のあるまちを実現し、市民が地域に愛着と誇りを持つことができるようにする。

項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	
			事業費(A)	千円	予算	44,363	44,020	40,288
			決算	41,352	33,091	21,925	24,031	
人件費(B)	千円	決算	44,117	37,018	27,600	32,517		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	85,469	70,109	49,525	56,548		
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		42,552	37,044	5,152	23,356	30,000	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		2	2	5	3		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
新聞等への掲載回数	回	目標	50	50	50	50	50
		実績	37	52	44	58	
(指標の設定根拠)	(数値目標の根拠)						
事業の紹介記事が新聞等掲載されることは、広域への周知のみならず、事業の価値を客観的に市民に伝える根拠や裏付けとなるため (前年から指標を変更した場合はその理由)	<ul style="list-style-type: none"> 算出方法 掲載状況の調査によって、クリッピング(切り抜き)を行い、1年単位で総数を算出する。 数値目標の根拠 新聞掲載の対象となる公演数が例年約50事業あり、各事業のプレスリリースを行っている。少なくとも一事業一社に掲載されることを目標としている。 						
(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 令和3年度もコロナ禍の影響でいくつかの公演が中止になったが、令和3年度に抗菌、抗ウイルスコーティングを実施し、安心安全な施設管理運営に努めたことから、規制が緩和されて公演数が増えた影響により、新聞の掲載数は昨年度を大きく上回った。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 創造スタッフ及び地元アーティストの活躍並びに文化の家の企画の独自性、また、学校及び福祉施設へのアウトリーチ活動がニュースバリューとして認められたことから、掲載の増加につながった。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 事業の目的や意図などがさらに読者に伝わるように、プレスリリースや取材にアピールの工夫を凝らす必要がある。

事業を構成する事務事業①	芸術鑑賞事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績	9,190				
(2)	【アクションプラン】 文化の家の学校鑑賞会開催回数	回	見込	1	2	1	2	2
			実績	0				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 文化芸術マスタープランに基づきさまざまな事業を計画したが、コロナ禍の影響により中止となった公演がいくつかあった。そのような中でも十分な感染症対策を講じ、客席数を限定してオンライン配信も同時に行うなど、積極的な事業展開を行った。学校鑑賞会はコロナの影響により予定していたアーティストが来日できなかったため中止となった。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	アートスクール事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	150	150	150	150	150
			実績	66				
(2)	【アクションプラン】 新規受講人数 【累計】	人	見込	100	100	100	100	100
			実績	54				
(3)	受講率	%	見込	100	100	100	100	100
			実績	52				
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> コロナ禍により、昨年はオンライン講座のみだったアートスクール講座は、規制緩和により例年より1か月遅れて開講することができた。しかし、受講者が定員の約半数で、コロナ禍による影響が続いていると考えられる。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業③	文化芸術アウトリーチ事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績	2,001				
(2)	【アクションプラン】 体験型の活動数 【単年】	回	見込	3	4	5	6	6
			実績	0				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> コロナ禍の最中ではあったが、中学校については全3校、小学校は6校中3校でアウトリーチを行うことができた。活動した会場は教室、体育館、武道場等で学校により様々であったが、その他にも交流を深めるために放送室、映像配信等、学校側と協力・工夫して交流を深めたことができた。							今後の方向性	拡充

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) コロナ禍による影響で多くの事業が中止・延期となった。すべての事業において感染症対策が必須事項となり、ソーシャルディスタンスによる入場者数制限は、集客や回収率に大きく影響した。今後は、補助金又は助成金を活用して、公共施設として開かれた劇場を目指しつつ、市民や利用者が安心して来館できる環境づくりを図っていきたい。
	中長期の目標	(いづれまでに事業をどのような状態にしたいか) 従来のような事業を開催できる状況(コロナ禍の収束)になるまでに、数年はオンラインを活用した事業や感染症対策の徹底を行う。また、コロナ禍で疲弊した人々の心に潤いを与えることができよう、開かれた劇場、交流の機会の提供及び積極的な発信を行っていく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・特定財源や事業収入の確保に努め、市の負担部分の軽減を図ってください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、講座の統廃合を含む整理に寄与できるよう取り組んでください。
内部意見への回答	

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	28	事業名	文化の家企画事業	担当部課	くらし文化部生涯学習課
基本情報	第6次総合計画・基本目標			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題			会計区分	
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有			
	事業開始の背景、経緯等				
市民・民間事業者との連携協働の可能性			(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか)
	事業対象	(誰、何を対象にしているか)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか)

項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	
			事業費(A)	千円	予算			
			決算					
人件費(B)	千円	決算						
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算						
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)								
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円							

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
			目標				
		実績					
(指標の設定根拠)	(数値目標の根拠)						
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など)
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など)

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	市民企画支援事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	10	10	10	10	10
			実績	10				
	(2) 【アクションプラン】 事業数	事業	見込	2	2	2	2	2
			実績	2				
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 団体が自主的に市民企画を担うシネマ倶楽部は、月1回の無料上映会と2回の有料公演を行い、コロナ対策として定員を半数(80名→40名)に行なった。また、市民の実行委員会で運営される吹奏楽フェスティバルを無観客オンライン配信で行った。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	事務事業②	アートのまちフェスティバル事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
			実績	10,344				
	(2) 【アクションプラン】 アートのまちフェスティバル事業 来場者数【単年】	人	見込	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
			実績	10,344				
	(3)	%	見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 昨年コロナ禍で中止になった「ながくてアートフェスティバル」は、規制緩和により開催することができた。ただ文化の家で不特定多数の人数が集まるアトリエマーケットやフリースペースで行われるパーフォーミングアーツのイベントを中止したため、目標人数に達することができなかった。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業③	事務事業③							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) コロナ禍による影響で多くの事業が中止・延期となった。すべての事業において感染症対策は必須事項となり、ソーシャルディスタンスによる入場者数制限は集客や回収率に大きく影響した。今後は補助金や助成金による補填を得て、公共施設として開かれた劇場を目指しつつ、市民や利用者に安心して来館できる環境づくりを図っていきたい。
	中長期の目標	(いっごうまでに事業をどのような状態にしたいか) 従来のような事業を開催できる状況になるまでに、ここ数年はオンラインを活用した事業や安全対策の徹底を行う。また、コロナ禍で疲弊した人々の心に潤いを与えることができるよう、開かれた劇場、交流の機会の提供、積極的な発信を行っていく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・特定財源や事業収入の確保に努め、市の負担部分の軽減を図ってください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、講座の統廃合を含む整理に寄与できるよう取り組んでください。
内部意見への回答	